

秋の奥出雲満載!!

第5回奥出雲町芸術文化祭/芸能音楽祭/商工まつり/新そば祭



会場を盛り上げたトラック大綱引き(仁多会場)



日頃の練習の成果を披露(芸能音楽祭)

10月31日から11月1日にかけて、第5回奥出雲町芸術文化祭、1日に両地域で商工まつりが開催されました。

芸術文化祭では、各グループや個人の力作・秀作、子供たちのかわいらしい作品などが展示され、来場者は足をとめて見入っていました。

また、横田コミュニティセンターでは、芸能音楽祭が行われ、町内17団体による歌や演奏、踊りなどが披露されました。

商工まつりでは、商工会や各種団体の味覚のテントが立ち並び、多くの人で賑わっていました。



元気いっぱい横田幼稚園児の踊り(横田会場)



作品を鑑賞する来場者



県内外から多くの人を訪れた新そば祭り

第四回まちおこし 大綱引き大会

第四回まちおこし大綱引き大会が十一月一日、三成小学校グラウンドで行われました。

各地区で選抜された九チーム(一チーム男十人、女五人で構成)が熱戦を繰り広げ、会場は威勢のよい掛け声が響いていました。



優勝：阿井(阿井体協8部)
準優勝：八川(チーム下横田)
三位：鳥上(参舞)

そろばん教育の一助に 補助教材を寄贈

学習指導要領では、小学校三年・四年生の算数の授業の中で「そろばん」が取り入れられています。この度、この授業がよりスムーズに行えるように、(社)全国珠算教育連盟島根支部から補助教材(三百六十冊)が町に寄贈されました。



この教材は、児童と教師が使用する二種類があり、それぞれに分かりやすく、より親しめるよう解説してあります。今後、町内各小学校に配布され、授業に活用されます。



同連盟雲南・仁多ブロック長の多和田友子さんから安部教育長へ贈呈

8年の保全活動スタート 企業参加の森づくり



第1回目の植栽を行なう参加者

島根県が創設した「しまね企業参加の森づくり」の五例目となる山陰酸素工業(本社・米子市)が十月二十四日、上阿井にある「たたら角炉伝承館」付近の山林で、第一回目の保全活動を行い、八年の保全活動がスタートしました。今年二月に県、町、仁多郡森林組合と山陰酸素工業が行った「森林保全活動に関する協定書」の調印を受け行われたもので、この日、同社の社員や森林組合の職員など約八十人が、ケヤキやクリ、ミズナラなど五種類の苗木約千本

を植え付けました。現地であった開会式で、同社の上田専務が「森林保全活動は誰かが始めないとできない。奥出雲町の賛同に感謝し、『奥出雲の森』で成果を挙げたい」とあいさつがあり、井上町長が「活動に感謝し、今後も森林を生かす活動を積極的に進めていきたい」と述べられました。計画では、三年間で町有林地約一・三ヘクタールに、七種類の広葉樹約二千九百本が植栽され、その後下刈りなどの維持管理が行われます。

人の魅力を磨いて地域力アップ 島根県立大学 出前講座



講座の様子

「心豊かに安心して暮らせる地域を次世代に引き継ぐために」をテーマとした、島根県立大学の出前講座が十月十七日、カルチャープラザ仁多で開催されました。この講座は、以前から町政座談会などで要望のあった、人材育成のための研修機会の充実に応え、町が県立大学の協力を得て実施したもので、この日は、町民や施設関係者、横田高校生など約七十人が参加しました。

講師は、同大学総合政策学部の堀内好浩教授をはじめ、看護学科、健康栄養学科の教授で、地域振興と人材育成に「家庭力」、「健康な食」の二つのテーマで講演されました。その中で、「地域を支える人材を育てるにはどのような観点が必要か」、「慢性疾患やこれからの家族はどうあるべきか」、「健康で長生きするための秘訣は何か」などが話され、参加者はメモを取りながら、真剣に耳を傾けました。

奥出雲和牛の名声を高める 平成二十一年度 島根県種畜共進会 島根中央子牛共進会

平成二十一年度の島根県種畜共進会が十月二十四日、また島根中央子牛共進会が十一月六日、松江市の島根中央家畜市場で開催されました。この共進会には、本町から多数の出品牛が参加し、県下各地区の選抜を勝ち抜いた、出品牛と上位入賞を目指して、資質を競いました。



共進会審査の様子

平成二十一年度 島根中央子牛共進会			平成二十一年度 島根県種畜共進会			
出品区	成績	名号	出品区	成績	名号	
第一区	一等賞	はるか	肉用種牛の部	若雌三区	一等賞	ふうか
第二区	一等賞	はなかつ	肉用種牛の部	母系牛群五区	一等賞	すみれ4
	三席		乳用種牛の部		二席	さつき4
出品者	勝田 稔	阿井	経産牛B五区	一等賞	首席	和泉芳邦
地区	横田	横田				横田